Nissan DataScan II User Manual

Nissan DataScan II ユーザーマニュアル

日本語版



http:\\www.nissandatascan.com Rev. 2 2016

> Garage In-take! http://carezza-auto.jp

お客様へのお知らせ:

熱心な人がメンテナンスとパフォーマンス改善の目的でユーザーの車でチューニングと データ収集を実行するのを援助するために、このソフトウェアは提供されます。 NissanDataScanでは、このマニュアルをお読みいただき、 使用前に内容を理解することを強くお勧めします

本ソフトウェアまたはNissanDataScanが提供するハードウェアの使用に関して、 いかなる保証もいたしません。

偶発的または必然的な損害賠償責任の制限が認められない場合、 損害賠償責任者の責任は、1ドルAUDを超えないものとします

Table of Contents

1.	Firs	st time use	6
1	.1	USB driver installation	6
1	.2	Communication settings	6
1	.3	Identifying Com Port number	8
1	.4	Software Activation	9
2.	Ma	in Window	. 11
3.	Set	tings	. 13
3	3.1	Communication	. 13
	3.1	.1 Find BlaztII Adaptor	. 15
	3.1	.2 Find ECU	. 15
3	3.2	Preferences	. 16
4.	EC	M functions	. 18
Z	4.1	Data Display	. 18
Z	1.2	Data Logging	. 20
Z	1.3	Self Diagnostics	. 21
Z	1.4	Idle Adjustment	. 22
Z	1.5	Base Timing Adjustment	. 22
Z	1.6	Active Test	. 23
Z	1.7	Cylinder Power Test	. 24
Z	1.8	Speed Test	. 25
Z	1.9	Log Analyser	. 26
Z	4.10	Data Replay	. 28
Z	4.11	Address Watch	. 30
Z	4.12	Work Support	. 30
Z	4.13	Parameter Settings	. 32
5.	BC	M functions	. 34
5	5.1	Data Display	. 35
5	5.2	Self Diagnostics	. 36
5	5.3	Active Test	. 37
6.	TC	M functions	. 38

6.1	Data Display	39
6.2	Data Logging	41
6.3	Self Diagnostics	
6.4	Log Analyser	
6.5	Data Replay	
6.6	Parameter Settings	
7. AB	3S functions	
7.1	Data Display	
7.2	Data Logging	51
7.3	Self Diagnostics	
7.4	Log Analyser	53
7.5	Data Replay	55
7.6	Parameter Settings	57
8. SR	S functions	58
8.1	Self Diagnostics	59
9. Die	esel ECM (ECMD) functions	60
9.1	Data Display	60
9.2	Data Logging	
9.3	Self Diagnostics	63
9.4	Log Analyser	64
9.5	Data Replay	66
9.6	Parameter Settings	68
10. C	OBDII functions	69
10.1	Data Display	
10.2	Data logging	
10.3	Self Diagnostics	
10.4	Fuel System Status	73
10.5	Monitor Status	74
10.6	Log Analyser	75
10.7	Parameter Settings	77
11. V	WBO2	

Appendix A – ECM Parameters

1. 初めての使用

NDSIIアプリケーションを使用する前に、 OBDIIアダプタのCOM Port番号を指定する必要があります OBDIIアダプタは、USB接続に必要なFTDIドライバを使用します。 ドライバは、アダプタのCOM Port番号を割り当てます。 このCOM Port番号は、NDSIIソフトウェアの通信設定に入力する必要があります。

1.1 USBドライバーのインストール

OBDIIアダプタをPCの空いているUSBポートに接続します。

ウィンドウズのOSによっては、WindowsUpdateWebサイトに接続して、 デバイスで検出された適切なドライバをインストールすることがあります。

自動インストールが行われる場合は、以下で説明する手順を続ける必要はありません。 適切なドライバが自動的に見つからない場合は、ドライバの場所を手動で指定し、 ドライバを保存した場所を指すオプションを選択します。

USBドライバは、当社のウェブサイトwww.nissandatascan.comから入手できます。 ドライバーは、FTDIのウェブサイトhttp://www.ftdichip.comからダウンロードすることもできます。

インストール中、FTDIドライバはアダプタのCOM Port番号を割り当てます。 NDSIIソフトウェアの設定に必要なCom Port番号をメモしておいてください。

特定のオペレーティングシステムの詳細な手順については、FTDIのWebサイト(http://www.ftdic hip.com/Support/Documents/InstallGuides.htm)を参照してください。

1.2 通信設定

NDSIIソフトウェアは、OBDIIアダプタと通信する方法を知る必要があります。 これは、アダプタに割り当てられた通信ポート番号を設定することで実現されます 通信ポートの設定は、メインウィンドウのプルダウンメニューである[Settings] - > [Communication]ウィンドウにあります。

Nissan DataScan II v2.52 Beta 1							
Settings ECM BCM TCM ABS SRS ECMD OBDII Help							
Communicati	on Ctrl+F1	ECWD OBDII	WB02				
Preferences	Ctrl+F2				Advance Functions		
Data Display F1	Data Logging F2	Self Diagnostics F3	Idle Adjustment F4	Timing Adjustment F5	Address Watch F11		
Active Test F6	Cylinder Power Test F7	Speed Test F8	Log Analyser F9	Data Replay F10	Work Support F12		
Connect ECU PART NUMBER: ####################################							

「COMPort」設定で、アダプタに割り当てられているCOM Port番号を入力します。 使用しているアダプターのタイプを選択します。 Generic adaptor - 一般的な互換OBDIIアダプタ、すなわちVAG COM 409 アダプター

BlaztII adaptor - BlaztII 製アダプター

NOS Communication			x
COM Port: 08 DTR	ECU ID in	Hex	
Adaptor Type	ECM :	10	(10)
Generic adaptor	BCM:	40	(40)
BlaztII adaptor 🔘	TCM :	18	(18)
Save debug data 🔲	ABS :	28	(28)
Ini Timer Offset 0 🛬	SRS :	58	(58)
Find Blaztll Adaptor	ECMD :	12	(12)
Find ECU	Tester:	FC	(FC)
Save	Cancel		

[Save]ボタンをクリックして、新しい設定を保存します。 ご使用のアダプタに割り当てられているCOM Port番号がわからない場合は、 以下の手順に従ってCOM Port番号を確認してください。

1.3 COMポート番号の特定

COM Port番号は、インストール時にFTDIドライバによってOBDIIアダプタに割り当てられます。 また、Windowsのデバイスマネージャからも識別できます。 OBDIIアダプタをPCの空いているUSBポートに接続します。 コントロールパネルからPCのデバイスマネージャーウィンドウを開きます。

ドライバが正しくインストールされている場合、OBDIIアダプタは 「Ports(COM&LPT)」の下にあります。 USBポートからアダプタを取り外すことで、正しいデバイスを識別したことを確認できます。 デバイスマネージャの一覧からデバイスが消えるはずです。

🚔 Device Manager	
<u>File Action View H</u> elp	
🔶 🧼 💼 📄 📓 🖬 🕺 🕼 🚱	
Human Interface Devices	*
IDE ATA/ATAPI controllers	
⊳ · Æ Keyboards	
Mice and other pointing devices	
Monitors	E
Network adapters	
Dother devices	
Ports (COM & LPT)	
Communications Port (COM1)	
ECP Printer Port (LPT1)	
USB Serial Port (COM3)	
Processors	
Sound, video and game controllers	
▲ I System devices	
ACPI Fixed Feature Button	*

通信ウィンドウにあるBlaztIIアダプタの検索機能を使用して、BlaztII adaptorが 存在するかどうかすべての使用可能なCom Portをテストすることもできます。 この機能はGeneric adaptorを識別することが出来ません。

1.4 ソフトウェアアクティベーション

初めてNDSIIソフトウェアを実行すると、ソフトウェアのアクティベーションを促すメッセージが表示されます。

[Help] - > [Activation]に移動して[Activation]ウィンドウを開きます。 登録したあなたの名前とメールアドレスを入力してください。

[Generate Code]ボタンをクリックして登録コードを生成します。

NDS II Activation		×		
Name: Email:	Tom nissandatascan@yahoo.com			
Registration Code 6ZWK7-J5XX2-WYDS8-TCSHT-DD85R-C0D5 Activation Key				
General * Press Ctrl+R keys to rese	te Code Unlock			

ソフトウェアの購入時に提供されたユーザー登録情報を使用して、 Nissan DataScan IIのメンバーエリアにログインします。



[Register Software]ボタンをクリックします。 NDSIIソフトウェアからRegistration Codeをコピーして貼り付け、 "Activate Key"ボタンをクリックしてください。



Activation KeyをコピーしてNDSIIソフトウェアに貼り付け、「Unlock」ボタンをクリックします。

VDS II Activation		
Name: Tom		
Email: nissandatascan@yahoo.com		
Pagistration Code		
6ZWK7-J5XX2-WYDS8-TCSHT-DD85R-C0D5	G http://home.exetel.com.au/nds/NE P + ≥ C × @ exetel.com.au	∩ ★ 8
Activation Key	🐴 🕶 🔂 👻 🖃 👼 👻 Page 👻 Safety 🕶 Tools 🕶 🕢 🛪 🔊 🔊	
739,19-X42M8-S19F7-86BH9-9PTVO-		
	Registration Code: 6ZWK7-J5XX2-WYDS8-TCSHT-DD85R-C0D5	
Generate Code Unlock	Activation Key: 739J9-X42M8-S19FZ-86BH9-9PTVQ-J	
* Press Ctrl+R keys to reset your previous registration		
	OK	
		🔍 100% 👻

NDSIIソフトウェアの起動を確認するポップアップメッセージが表示されます。

NDS II 2_52	
NDS II has been suce	essfully activated.
	ОК

これで、NDSIIソフトウェアの使用準備が整いました。

2. メインウインドウ

メインウィンドウは、Nissan DataScan IIソフトウェアのすべての機能にアクセスできます。 一部の機能は、ECUに接続されていないときに「オフライン」で使用できます。 他の機能は、ECUとの接続が確立されている場合にのみ使用できます。

トップメニューは特定のECU機能とプログラム設定にアクセスします。

これらのタブは、ECU、ワイドバンドセンサまたは接続タイプの切り替えに使用されます。

ECM - Consult IIプロトコル、エンジンコントロールモジュール

BCM - Consult IIプロトコル、ボディコントロールモジュール

TCM - Consult IIプロトコル、トランスミッションコントロールモジュール

- ABS Consult IIプロトコル、ABSモジュール
- SRS Consult IIプロトコル、エアバッグモジュール
- ECMD Consult IIプロトコル、ディーゼルエンジンコントロールモジュール
- OBDII OBDIIプロトコル、エンジンコントロールモジュール
- WBO2 Innovate Motorsports ワイドバンドO2センサー



Consult IIプロトコルの制限により、その時に1つのECUだけを接続することができます。 複数のECUへの同時接続を確立することは不可能です。

接続が確立されると、ECU部品番号が表示されます ECUとの通信を必要とし、ECUでサポートされているすべての機能が自動的に有効になります。



下の進捗バーは、ECUとPC間の通信を示します。 バーが動いていない場合は、ECUからデータが受信されません。 ステータスバーには、Blazt IIアダプタのファームウェアのバージョンと ユーザー設定も表示されます。

3. セッテイング

3.1 通信

通信設定は、メインプルダウンメニューのSettings - > Communicationから利用できます。 これらの設定は、NDSIIソフトウェアがECUにアクセスするために必要なパラメータを設定します。 デフォルト設定は、ほとんどのユーザーにとって有効です。

NOS Communication		X
COM Port: 08 DTR 🔽	ECU ID in He	ex
Adaptor Type	ECM:	10 (10)
Generic adaptor	BCM:	40 (40)
BlaztII adaptor 🔘	TCM :	18 (18)
Save debug data 🔲	ABS :	28 (28)
Ini Timer Offset 0 🌻	SRS:	58 (58)
Find Blaztll Adaptor	ECMD :	12 (12)
Find ECU	Tester:	FC (FC)
Save	Cancel]

COMポート - OBDIIアダプタに割り当てられたCom Port番号。 使用するポート番号がわからない場合は、「Comポート番号の特定」を参照してください。

Generic adaptor - 一般的な互換OBDIIアダプタ、つまりVAG COM 409アダプタを使用する場合に選択します(http://www.tomtop.com/vag-com-obdii-409-1-usbcar-diagnostic-cable-interface.html)。

BlaztII adaptor - BlaztII製アダプターを使用する場合に選択します。

注意:ELM327タイプのアダプタはサポートされていません。

BlaztIIデザインアダプターを使用することをお勧めします。 ECUとの接続の信頼性が向上します。低コストのセットアップと時折の使用のために、 一般的な 互換OBDIIアダプタもサポートされています。

ー般的なアダプタを使用して接続を開始できない場合は、Ini Timer Offset値を調整してみてください。この値は、開始シーケンスで使用されるタイミングを変更します

ー部の汎用アダプタでは、アダプタがデータをkラインに送信するためにDTRピンをアクティブにする必要があります。このタイプのアダプタのDTR設定を有効にします

Save debug data - このオプションを選択すると、NDSII開発者が解析できる デバッグファイルが保存されます。通常、ファイルはNDSIIアプリケーションと同じディレクトリに保 存されますが、オペレーティングシステムによって異なる場合があります。 このオプションは、日産データスキャンのスタッフが特別に指示しない限り使用しないでください。

ECU ID in HEX-ECU IDは地域によって異なります。 テスターIDはソフトウェアがECUに自身を識別させるために使用するものです。 デフォルトの設定はほとんどの車で動作するはずです。

3.1.1 BlaztIIアダプタを探す

Find BlaztII Adapterボタンは、BlaztIIアダプタが存在するかどうかを調べるために 使用可能なすべてのCom Portをテストします

Most Adaptor Test	x				
Adaptor not found!					
Adaptor					
Com Port 1 - available adaptor not found					
Start					

この機能は、USBドライバが以前にインストールされている場合、BlaztIIアダプタに割り当てられたC OMポート番号を簡単に識別するために使用できます。 テストの後、COMポートのフィールドにアダプタの存在するCOMポート番号を手動で入力する必要 があります

3.1.2 ECUを探す

[Find ECU]ボタンは、アクティブなECUをテストします。 これは、車に存在するECUを識別し、開始シーケンスに応答するために使用されます。 デフォルト設定がECUとの通信を確立できない場合は、この機能を使用する必要があります。

🗤 Active ECU Test	x		
Quering ECU - 1A			
Active ECU ECU ld 10 - active			
Start Cance			

注意:サポート対象外のECUは、アクティブECUテスト中に問合せに応答することができます。 接続の種類ごとに正しいECU IDを使用することが重要です。すなわち BCM接続のためのBCM IDとECM接続のためのECM IDだけを使ってください。

各タイプのECUは特定の機能セットのみをサポートし、特定のタイプの接続を使用する必要があります。

3.2 設定

環境設定は、メインプルダウンメニューのSettings - > Preferencesから利用できます。

NDS Preferences	×
Speed Unit <mark>Kph</mark> -	Temperature Unit Celsius -
Blaztil LED	aptor LED
Gauge Design	
Classic	Modern
Log Analyser Design	
Classic	Modern
Save	Cancel

環境設定ウィンドウでは、ソフトウェア全体で使用される単位を指定できます。

SpeedUnit 速度単位 - KphまたはMph Temperature 温度単位 - Celsius摂氏またはFahrenheit華氏

BlaztIIアダプターLEDをオフにするオプションは、BlaztIIケーブルの点滅LEDを無効にします

ゲージデザインオプションは、ソフトウェア全体で使用されるゲージデザインのタイプを指定します。



クラシック



「Log Analyzer Design」オプションは、使用されるLog Analyzerデザインのタイプを指定します。 ユーザーの好みに応じて、クラシックまたはモダンなデザインを使用することができます。 現代的なデザインは、より柔軟性を提供します。

4. ECMファンクション

ECM機能は2つのグループに分かれています。

基本機能は、エンジンパラメータの一般的な監視や、テストやチューニングに使用する高度な機能に役立ちます。

メイン画面の上部にあるプルダウンメニューから、大きなメイン画面のボタンをクリックするか、キ ーボードの対応するファンクションキーを押して選択できます

4.1 データディスプレイ

データディスプレイ機能は、12個のゲージと9個のレジスタを使用して、エンジンECMによって測定 または計算されたエンジンに関するリアルタイムデータを表示します。 環境設定に応じて、このウィンドウはクラシックまたは最新のデザインゲージを使用できます。





モダン



パラメータは、Data Display Settingsウィンドウ(ECM->Data Display Settings) のゲージに割り当てられます。

Gauge 1		Gauge 2		Gauge 3		Gauge 4		
RPM	•	Air Flow Volts	•	Water Temperature	-	A/F Correction Ba	ank 1	•
RPM Air Flow Volte		Gauge 6		Gauge 7		Gauge 8		
Water Temperature	H	Vehicle Speed Sensor	•	Vehicle Speed	•	Battery Voltage		
A/F Correction Bank 1 A/F Correction Bank 2	-	Gauge 10		Gauge 11		Gauge 12		
Vehicle Speed Sensor Vehicle Speed		Ignition Timing	•	Intake Air Temperature	-	Intake Camshaft	Adv b1	
Battery Voltage	*	n						
Register 1		Register 4		Register 7				
Heater Fan Switch	•	Park/Neutral Switch	•	Throttle Relay Control	•			
Register 2		Register 5		Register 8				
Ignition Switch	•	Power Steering Switch	•	A/C Relay	-			
Register 3		Register 6		Register 9				
		Dedictor Cooling For	_	Closed Throttle Desition	-	Couro	Car	ncol

4.2 データロギング

この機能を使用すると、ECMパラメータおよびレジスタの記録対象を選択できます。 また、ログファイルの名前と保存場所を選択できます。 [Start]ボタンをクリックすると、選択したパラメータがコンマ区切りの テキストファイルに記録されます。

ログアナライザ機能またはデータリプレイ機能を使用して、ログファイルをレビューすることができます。このファイルは、Excelなどの一般的なスプレッドシートソフトウェアで開くこともできます。

Parameter/Register		
Engine RPM		
Air Flow Volts		=
Water Temperature		
A/F Correction Bank 1		-
A/F Correction Bank 2		
Vehicle Speed Sensor		
Vehicle Speed		
Battery Voltage		
🗹 Intake Air Temperature		
Idle RPM Correction		
Ignition Timing		
Accelerator Pedal Position 1		
Accelerator Pedal Position 2		
Injector Time b1		-
	BROWSE	
START	STOP	1

4.3 自己診断

自己診断機能は、ECMに存在する故障コードを表示します。 また、故障を修復した場合に既存のコードをクリアするために使用することもできます。

NOS Self Diagnostics	
Error Codes	
*** There are 11 faults on the system *** P0118, ECT SEN/CIRCUIT P2122, APP SEN 1/CIRC P2127, APP SEN 2/CIRC P0223, TP SEN 1/CIRC P0123, TP SEN 2/CIRC P1611, NATS MALFUNCTION P1111, INT/V TIM V/CIR-B1 U1001, CAN COMM CIRCUIT P0113, IAT SEN/CIRCUIT	E
Clear Error Codes Retrieve Error Cod	es

4.4 アイドル調整

アイドル調整機能を使用すると、ユーザーはベースアイドル回転を調整できます。 設定はECMメモリに保存され、エンジンの再起動ではリセットされません。 この機能を開始するには、エンジンが最低動作温度(80℃)に達する必要があります。

この機能は主に、変更されたエンジンのベースアイドルRPMを増加させるために使用されます。 異常に高いベースアイドルRPMを下げるには、Idle Air Volume Learn機能を使用します。

😵 Idle RPM Adjustm	ent 💽
Engine Temperate	ure
82	Engine temperature must be between 80 and 95 deg Celsius
RPM	
	000
	650
	650
-Idle Adjustment	650
─Idle Adjustment ── Current	650 _{Target}
Idle Adjustment Current	650 o Target 0 +

4.5 点火時期調整

Base Timing Adjustment(ベース点火時期調整)機能により、 ユーザはベース点火時期を調整することができます。 設定はECMメモリに保存され、エンジンの再起動ではリセットされません。 この機能を開始するには、エンジンが最低動作温度(80℃)に達する必要があります。

B base finning Aujuste	ment	X
Engine Temperature	e Engine temperature must be between 80	
82	and 95 deg Celsius	
Timing		
	15	
Timing Adjustment		1
Timing Adjustment	Target	. 1
Timing Adjustment	0 Target	+

4.6 アクティブテスト

アクティブテスト機能により、ユーザーはECMと直接対話できます。このツールを使用すると、 制御パラメータを変化させて、数値変化に対するエンジンシステム応答を評価することができます。 たとえば、エンジンの温度を特定の値に設定すると、ECMは実際にその温度になったかのように反応 します。これは、温度センサの故障を診断するために使用できます。

ECMでサポートされている機能だけが有効化されます。 グレー表示された機能は、ECMではサポートされていません。

NDS Active Test	X
Fuel Pump ● On ○ Off START STOP	O START STOP
A/F Base %	C-VTC 0 START STOP
Engine Temperature 85 🗧 START STOP	EGR Valve
Fuel Temperature	Ignition Timing 0 START STOP

Fuel Pump - 燃料ポンプをオンまたはオフにします。

A / F Base % - 燃料補正一時的にこの値を増やすことによって、 燃料マップ全体にさらに燃料を追加します。

Engine Temperature - 現在のエンジン温度(水温)を設定値で上書きします。 この機能を長期間使用しないでください。エンジンの過熱につながる可能性があります。

3

Fuel Temperature - 現在の燃料温度を設定値で上書きします。

Purge Volume Control Valve - パージバルブ(キャニスター)を設定値まで開きます。

C-VTC - カムタイミングを設定値に調整します。

EGR Valve - EGRバルブを設定値まで開きます。

Ignition Timing - 点火時期を設定値で変更します。

これらのテストは、STOPボタンを押すまで、またはエンジンが停止するまで作動します。 エンジン停止後は元に戻ります

この機能は、データ表示ウィンドウからもアクセスできます。

4.7 パワーバランス

シリンダーパワーテスト機能により、個々のシリンダーをオフにすることができます。 この機能は、エンジン作動中の各気筒の状態を識別するために使用できます。 すべてのシリンダがパワーバランスが同じ場合、エンジンのRPMは、各シリンダがオフになったと きに、まったく同じ量だけ落ちます。テストの結果は、さらなる点検の情報となります。 この結果だけではエンジン本体などのトラブルと判断することはできません



4.8 スピードテスト

この機能は、車両の性能を正確に測定します 実行するテストを選択し、[Activate]ボタンをクリックします。 プログラムは、ECMの車速を監視します。 開始速度に達したとき(または設定速度0の時は動き始めた時)、測定が始まります。 選択した上限速度に達すると、タイムが表示されます。

[Cancel]ボタンは、スピードテストを終了します

elect Test	Result	Speed
□ 0 - 60	0	
🔽 <mark>0</mark> - 100	0	
□ 50 - 100	0	Cancel
0 - 120	0	
□ 40 - 120	0	Activate

4.9 ログアナライザー

ログアナライザは、ユーザがデータロギング機能で記録したデータをグラフ化する機能を提供し ます。グラフィカル出力は、より時間順にデータを評価するのに役立ちます。 グラフで示されたログを比較することで故障原因を探すのに役立ちます。

クラシックデザイン



グラフ化されるデータが上部に表示されます。

適切なボックスをチェックすることにより、データは上または下のグラフのいずれかでグラフ化することができる。

この機能を使用すると、記録されたパラメータを最も意味のある方法で表示することができます。 位置ボタンを使用して、特定の時間内の値を比較することができます。

モダンデザイン

NDSII User Manual



グラフ化されるデータは左側に表示されます。 適切なボックスをチェックすることにより、データをグラフ化することができる。 グラフの色は関連するデータと一致します。 位置ボタンを使用して、特定時間内の値を比較することができます。

垂直スケールを表示するには、パラメータを選択する前に[Show Y Scale]オプションを選択します。

下のウィンドウのハイライト表示された領域は、メインウィンドウの現在グラフ化されているデータを表します。

4.10 データリプレイ

データリプレイを使用して収集されたデータログファイルを「再生」するには、データリプレイ機能を使用します。

リプレイは、リアルタイムで実行することも、位置スライダを使用してステップ実行することもできます。

お用可能な2つのゲージデザインがあります。「Settings」->「Preferences」の設定によって、使用される設定が決まります。 両方ともまったく同じ機能を実行します。

クラシックゲージデザイン



モダンゲージデザイン



4.11 アドレスウオッチ

アドレスウォッチは進歩的な機能です。 特定のメモリアドレスの場所を監視するために使用されます。これは、チューナーがConsult IIプロトコルで利用できない特定の機能を監視する必要がある場合によく使用されます。

3つのメモリアドレスを同時に監視することができます。 ウィンドウの上部にあるフィールドにアドレスを入力します。 [START]ボタンをクリックして監視を開始します。 現在値、最大値、最小値がアドレスの下に表示されます。

EEEE0001	EEEE0002	EEEE0003
11110001	11110002	11110000
fax Value	- N	() SF
BD	3	49
urrent Value		
BD	3	49
lin Value		
BD	3	49

4.12 作業サポート

作業サポート機能を使用すると、初期設定作業の一部を実行することができます。 これらの手順は、交換部品を取り付けた後に実行する必要があります。

Clear Self Le	arn	
	CLEAR	
Idle Air Volun	ne Learn	
	LEARN	
Program Imm	obiliser Key	
	PROGRAM	
PIN CODE:		10

Clear Self Learn - Air / Fuel Base Self Learnマップをクリアします。 クローズドループモードで動作している間、ECMはO2センサーを連続的に監視し、 空燃比補正をする。この補正値はECMのメモリに保存されます。 ECMは保存された補正を使用して、最適な空燃比を迅速に達成します。 この機能は、この補正値をメモリから消去し、ECMに再学習させます。

アイドル空気量学習 - エンジン回転を基準値内に保つためアイドル空気量を学習する操作。 電子スロットルコントロールアクチュエータまたはECMを交換するたびに実行する必要があります。 また、アイドルスピードまたは点火タイミングが基準値外である場合にも完了する必要があります。

準備

アイドル空気量学習を行う前に、次の条件がすべて満たされていることを確認してください。 次のいずれかの条件が1つでも外れた場合、学習はキャンセルされます

バッテリ電圧:12.9V以上(アイドリング時)
 水温:70-95°C
 吸気温:60°C以下
 パーク/ニュートラルポジションスイッチ:ON
 電気負荷スイッチ:OFF(エアコン、ヘッドランプ、リヤウインドデフォッガ)
 ステアリングホイール:ニュートラル(直進状態)
 車速:0km/h
 トランスミッション:CVTフルード60°C以上(エンジン暖機後、約10分間走行する。)

アイドル吸入空気量学習が完了しない場合は、次のように作業を進めること。

スロットルが完全に閉じていることを確認する。
 PCVバルブが固着していないことを確認する。
 スロットルの下流にエア漏れがないことを確認する。
 上記の3項目がOKであることを確認できた場合は、部品の取り付け状態に問題がないか確認する。CONSULT-IIがある場合は、概要を実施することが有効である。
 エンジン始動後に以下の状態が発生する場合は、問題の原因を除去して「アイドル吸入空気量学習」をもう一度やり直すこと:

アイドル不調

プログラムイモビライザーキー - 日産のトランスポンダーキーをECMイモビライザーに登録します。 4桁のイモビライザーPINを入力し、[開始]ボタンをクリックします。 PINは、日産/インフィニティのディーラーから入手できます。 この手順では、まず登録されたキーをすべて消去します。

これで、新しいキーを含めてキーを1つずつ再登録することができます。 この時点で登録されていないキーは使用できなくなります。

4.13 パラメータ設定

パラメータ設定機能には、メインプルダウンメニューECM - >Parameter Settingsからアクセスできます。

個々のパラメータごとに値の範囲を調整するために使用されます。 また、クラシックゲージの外観を定義します。ゲージの分解能を増減します

No. Parameter Settings	
Parameter	
Engine RPM	•
Value Range	
Min:	0
Warn:	6500
Max:	8000
Dec Point	0
Visual Alert:	
Classic Gauge	
Ticker:	8
Sub Ticker:	5
Save	Cancel

上部のドロップダウンメニューからパラメータを選択します。 ゲージの最小値、警告値、最大値を入力します。小数点を表示する桁数を入力します。

ビジュアルアラート設定では、警告値に達するとゲージの色が変わります。

ティッカーとサブティッカーの設定は、クラシックゲージにのみ適用されます。 ゲージが持つべきティッカー数を指定します。



5. BCMファンクション

NDSIIソフトウェアは、DDL2通信ラインを介したBCM診断をサポートします。

多くの日産車はエンジンECU(ECM)診断にDDL2通信ラインを使用していますが、 一部車種にBCM診断にDDL1通信ライン(旧コンサルトコネクター)を使用している場合、 これらの車両はサポートされていません。

BCM機能は、ボディコントロールモジュールの診断および一般的なモニタリングに使用されます。 メイン画面の上部にあるプルダウンメニューから選択するか、大きなメイン画面のボタンをクリッ クして選択できます。

すべてのBCM ECUがその部品番号を表示するわけではありません。 通信は確立できますが、部品番号は表示されません。

下部の進捗バーは、BCMとPC間のデータ転送を示します。 バーが動いていない場合、BCMからのデータは受信されていません。

🔊 Nissan DataScan II v2.52 Beta 1	×
Settings ECM BCM TCM ABS SRS ECMD OBDII Help ECM BCM TCM ABS SRS ECMD OBDII Help	
Data Self Display Diagnostics	
Connect ECU PART NUMBER: ####################################	
Connected Celsius Kph	

5.1 データディスプレイ

データディスプレイウィンドウは、BCM操作に関するリアルタイム情報を表示するために12のレジ スタを使用します。

🔊 Data Display BCM	- Barrow (
Opt Sns			Lk Button/Sig
U	UII	UII	
Light Sw 1st	Lk Button/Sig	Un Button/Sig	Ign On Sw
Off	Off	Off	On
Door Sw-Dr	lgn On Sw	Fr Wiper Stop	Trnk Opn Mntr
Off	On	Off	Off

パラメータは、Data Display Settingsウィンドウ(BCM->Data Display Settings)で割り当てられます

Now Data Display Settings BCM					
Register 1	Register 2	Register 3	Register 4		
Head Lamp - Optical Sensor 🔻	Door Lock - Lock Sw Dr/As 🔹	Door Lock - Unlk Sw Dr/As 🔹	Door Lock - Lk Button/Sig 🔹		
Register 5	Register 6	Register 7	Register 8		
Light Warn Alm - Light Sw 1⊱ ▼	Door Lock - Lk Button/Sig 🔹	Door Lock - Un Button/Sig 🔹	Retained Pwr - Ign On Sw →		
Register 9	Register 10	Register 11	Register 12		
Door Lock - Door Sw-Dr →	Head Lamp - Ign On Sw ▼	Wiper - Fr Wiper Stop •	Door Lock - Trnk Opn Mntr 🔹		
	Save	Cancel			

5.2 自己診断

自己診断機能は、BCMに存在する故障コードを表示します。 また、故障を修復した時に既存のコードをクリアするために使用することもできます。
NON Self Diagnostics BCM	×
Error Codes	
*** There are 6 faults on the system *** U1000, CAN COMM CIRCUIT B2049, OPEN DETECT 1 B2050, OPEN DETECT 2 B2051, OPEN DETECT 3 B2052, OPEN DETECT 4 B2053, OPEN DETECT 5	*
Clear Error Codes Retrieve Error Codes	

5.3 アクテイブテスト

アクティブテスト機能により、ユーザーはBCMと通信できます。 この機能により、アクチュエータ/スイッチを手動で動作してBCM機能をテストすることができます。 BCMでサポートされている機能だけが有効化されます。 グレー表示機能はBCMではサポートされていません。 テストが停止するまで、またはエンジンが停止するまで作動します。 設定を継続的に保持することはできません。

Active Test BCM	
Battery Saver	Chime 1
On ○ Off START STOP	On ○ Off START STOP
Internal Lamp	Chime 2
On ○ Off START STOP	On ○ Off START STOP
Ignition Lamp	Chime 3
On ○ Off START STOP	On ○ Off START STOP
Lock All Doors	Lock Drivers Door
On ○ Off START STOP	On ○ Off START STOP STOP
Unlock All Doors	Unlock Drivers Door
On ○ Off START STOP STOP	On ○ Off START STOP
Rear Deffoger	Lock Passanger Door
On ○ Off START STOP	On ○ Off START STOP STOP
Reverse Warning	Unlock Passanger Door
On ○ Off START STOP STOP	On ○ Off START STOP STOP

6. TCMファンクション(AT、CVT)

NDSIIソフトウェアは、DDL2通信ラインを介してTCM診断をサポートします。

多くの日産車は、エンジンECU(ECM)診断用にDDL2通信ラインを使用していますが、 一部の車両は、TCM診断用のDDL1通信ライン(旧コンサルト)を使用しています。 これらの車両はサポートされていません。

TCM機能は、トランスミッションコントロールモジュールの診断およびデータモニターに使用されます。

メイン画面の上部にあるプルダウンメニューから選択するか、大きなメイン画面のボタンをクリックして選択できます。

下部の進捗バーは、TCMとPC間のデータ転送を示します。 バーが動いていない場合は、TCMからデータが受信されていません。

Nissan DataScan II v2.52 Beta 1	
Settings ECM BCM TCM ABS SRS ECMD OBDII Help ECM BCM TCM ABS SRS ECMD OBDII WBO2 Basic Functions TCM	
Data Display Data Logging Self Diagnostics Log Analyser Data Replay	
Connect ECU PART NUMBER: 31036-AL600 SOFTWARE VERSION: 0x18	
Connected Celsius Kph Cable ver 2.13	44

6.1 データデスプレイ

データ表示機能は、6つのゲージと9つのレジスタを使用して、TCMによって測定または計算された信号に関するリアルタイム情報を表示します。 環境設定に応じて、このウィンドウはクラシックまたは最新のデザインゲージを使用できます。



モダン



パラメータは、Data Display Settingsウィンドウ(TCM->Data Sisplay Settings)のゲージに割り当てられます。

📖 Data Display Settings TCM		x
Gauge 1	Gauge 2	Gauge 3
Accelerator Pedal Position	ATF Temperature 1 ▼	ATF Temperature 2 ▼
Gauge 4	Gauge 5	Gauge 6
ATF Temperature Sensor 1 →	ATF Temperature Sensor 2 👻	Throttle Position Sensor 🔻
Register 1	Register 4	Register 7
Gear ▼	Next Gear Position 👻	2nd Position Indicator
Register 2	Register 5	Register 8
Shift Mode	Select Lever Position	3rd Position Indicator
Register 3	Register 6	Register 9
Manual Gear Position 🗸	1st Position Indicator	4th Position Indicator
Save Cancel		

6.2 データロギング

この機能を使用すると、ログに記録されるTCMパラメータとレジスタを選択できます。

また、ログファイルの名前と保存場所の選択ができます。

[START]ボタンをクリックすると、選択したパラメータがコンマ区切りのテキストファイルに記録されます。

ログアナライザ機能またはデータリプレイ機能を使用して、ログファイルをレビューすることができます。

このファイルは、Excelなどの一般的なスプレッドシートソフトウェアで開くこともできます。

🞯 Data Logging TCM		3
Parameter/Register		*
Accelerator Pedal Position		=
ATF Temperature 1		1
ATF Temperature 2		
ATF Temperature Sensor 1		
ATF Temperature Sensor 2	2	
Throttle Position Sensor		
Battery		
C/V Calibration 1		
C/V Calibration 2		
C/V Calibration 3		
D/C Solenoid		
D/C Solenoid Monitor		
RPM		
Carrier Gear Revolutions		+
	BROWSE	
START	STOP	

6.3 自己診断

自己診断機能は、TCMに存在するすべての故障コードを表示します。 また、故障を修復した場合に既存のコードをクリアするために使用することもできます。

Error Codes	
*** There are 0 faults on the system ***	^
	1

6.4 ログアナライザー

ログアナライザは、ユーザがデータロギング機能で記録されたデータをグラフ化する機能を提供します。グラフィカル出力は、時間に対するデータ変化を評価するのに役立ちます。 グラフで示されたログは、故障原因のために比較することができます。

利用可能な2つのデザインがあります。「Settings」->「Preferences」の設定によって、使用する設定が決まります。

クラシックデザイン

NDSII User Manual



グラフ化したデータが上部に表示されます。

適切なボックスをチェックすることにより、データは上または下のグラフのいずれかでグラフ化 することができます。

この機能を使用すると、記録されたパラメータを最も意味のある方法で表示することができます。位置ボタンを使用して、途中経過の値を比較することができます。

モダンデザイン



グラフ化されるデータは左側に表示されます。 適切なボックスをチェックすることにより、データをグラフ化することができる。 グラフの色は関連するデータと一致します。 位置ボタンを使用して、途中経過の値を比較することができます。

垂直スケールを表示するには、パラメータを選択する前に[Show Y Scale]オプションを選択します。 下のウィンドウのハイライト表示された領域は、メインウィンドウの現在グラフ化されているデータを 表します。

6.5 データリプレイ

データリプレイ機能を使用して収集されたデータログファイルを「再生」するには、データ再生機能を 使用します。

再生は、リアルタイムで実行することも、位置スライダを使用してステップ実行することもできます。

利用可能な2つのゲージデザインがあります。「Settings」->「Preferences」の設定によって、使用される設定が決まります。両方ともまったく同じ機能を実行します。

クラシックゲージデザイン



モダンゲージデザイン



6.6 パラメータ設定

パラメータ設定機能には、プルダウンメニューのTCM - >Parameter Settingsからアクセスできます。 個々のパラメータごとに値の範囲を調整するために使用されます。 また、クラシックゲージの外観を定義します。 ゲージの分解能を増減します。

Parameter Settings	s TCM
Parameter	
Gear Ratio	•
Value Range	
Min:	0
Warn:	0
Max:	30
Dec Point	2
Visual Alert:	
Classic Gauge	
Ticker:	3
Sub Ticker:	10
Save	Cancel

上部のドロップダウンメニューからパラメータを選択します。 ゲージの最小値、警告値、最大値を入力します。小数点を表示する桁数を入力します。 ビジュアルアラート設定では、警告値に達するとゲージの色が変わります。 ティッカーとサブティッカーの設定は、クラシックゲージにのみ適用されます。 ゲージが持つべきティッカー数を指定します。



7. ABSファンクション

NDSIIソフトウェアは、DDL2通信ラインを介してABS診断をサポートします。

多くの日産車は、エンジンECU(ECM)診断にDDL2通信ラインを使用していますが、 一部車両のABS診断にはDDL1通信ライン(旧コンサルト)を使用しています。 これらの車両はサポートされていません。

ABS機能は、ABS制御モジュールの診断およびデータモニターに使用されます。 メイン画面の上部にあるプルダウンメニューから選択するか、大きなメイン画面のボタンをクリック して選択できます。

下部のプログレスバーは、ABS ECUとPC間のデータ転送を示します。 バーが動いていない場合は、ABS ECUからデータが受信されていません。

Nissan DataScan II v2.52 Beta 1
Settings ECM BCM ICM ABS SRS ECMD OBDII Help ECM BCM TCM ABS SRS ECMD OBDII WBO2
Basic Functions ABS
Data Display Data Logging Self Diagnostics Log Analyser Data Replay
Connect ECU PART NUMBER: 47851-AM420 SOFTWARE VERSION: 0x110
Connected Celsius Kph Cable ver 2.13

7.1 データディスプレイ

データディスプレイ機能は、6つのゲージと9つのレジスタを使用して、ABS ECUによって測定または計算されたABSシステムに関するリアルタイムデータを表示します。 環境設定に応じて、このウィンドウはクラシックまたは最新のデザインゲージを使用できます。



モダン



パラメータは、Data Display Settingsウィンドウ(ABS->Data Display Settings)のゲージに割り当てられます。



7.2 データロギング

この機能を使用すると、ユーザーはどのABSパラメータおよびレジスタを記録するかを選択できます。また、ログファイルの名前と保存場所を選択でできます。

[START]ボタンをクリックすると、選択したパラメータがコンマ区切りのテキストファイルに記録されます。

ログアナライザ機能またはデータリプレイ機能を使用して、ログファイルをレビューすることができます。このファイルは、Excelなどの一般的なスプレッドシートソフトウェアで開くこともできます。

データロギング機能は、データ表示ウィンドウからもアクセスできます。

メインウィンドウから機能を起動すると、より早く画面切換えが出来ます。

👷 Data Logging ABS		×
Parameter/Register		
Front Left Wheel Sensor		
Front Right Wheel Sensor		E
Rear Left Wheel Sensor		
Rear Right Wheel Sensor		
Battery Voltage		
Accelerator Pedal Position		
Side G Sensor		
Front Right Wheel RPM		
Front Left Wheel RPM		
Rear Right Wheel RPM		
Rear Left Wheel RPM		
Steering Wheel Angle		
🔲 Break Pedal Pressure		
Engine RPM1		-
1	BROWSE	
START	STOP	1

7.3 自己診断

自己診断機能は、ABS ECUに存在するすべての故障コードを表示します。 また、故障を修復した場合に既存のコードをクリアするために使用することもできます。

Error Codes	
*** There are 2 faults on the system ***	*
C1109, BATTERY VOLTAGE [ABNORMA C1130, ENGINE SIGNAL 1	L]
	-
	1

7.4 ログアナライザー

ログアナライザは、ユーザがデータロギング機能で記録されたデータをグラフ化する機能を提供します。 グラフィカル出力は、時間に対するデータ変化を評価するのに役立ちます。 グラフで示されたログは、故障原因のために比較することができます。

利用可能な2つのデザインがあります。「Settings」->「Preferences」の設定によって、使用する設定が決まります。

クラシックデザイン



グラフ化したデータが上部に表示されます。

適切なボックスをチェックすることにより、データは上または下のグラフのいずれかでグラフ化することができます。

この機能を使用すると、記録されたパラメータを最も意味のある方法で表示することができます。 位置ボタンを使用して、途中経過の値を比較することができます。

モダンデザイン

NDSII User Manual



グラフ化されるデータは左側に表示されます。 適切なボックスをチェックすることにより、データをグラフ化することができる。 グラフの色は関連するデータと一致します。 位置ボタンを使用して、途中経過の値を比較することができます。

垂直スケールを表示するには、パラメータを選択する前に[Show Y Scale]オプションを選択します。 下のウィンドウのハイライト表示された領域は、メインウィンドウの現在グラフ化されているデ ータを表します。

7.5 データリプレイ

データリプレイ機能を使用して収集されたデータログファイルを「再生」するには、データ再生機能を使用します。

再生は、リアルタイムで実行することも、位置スライダを使用してステップ実行することもできます。

利用可能な2つのゲージデザインがあります。「Settings」->「Preferences」の設定によって、使用される設定が決まります。両方ともまったく同じ機能を実行します。

クラシックゲージデザイン



モダンゲージデザイン



7.6 パラメーターセッティング

パラメータ設定機能には、メインプルダウンメニューのABS - > Parameter Settingsからアクセスできます。

個々のパラメータごとに値の範囲を調整するために使用されます。 また、クラシックゲージの外観を定義します。ゲージの分解能を増減します。

Parameter Settings	ABS
Parameter	
G Sensor Voltag	ge 🔻
Value Range	
Min:	0
Warn:	5
Max:	6
Dec Point	2
Visual Alert	
Classic Gauge	
Ticker:	6
Sub Ticker:	10
Save	Cancel

上部のドロップダウンメニューからパラメータを選択します。 ゲージの最小値、警告値、最大値を入力します。小数点を表示する桁数を入力します。 ビジュアルアラート設定では、警告値に達するとゲージの色が変わります。 ティッカーとサブティッカーの設定は、クラシックゲージにのみ適用されます。 ゲージが持つべきティッカー数を指定します。



8. SRSファンクション

NDSIIソフトウェアは、DDL2通信回線でSRS診断をサポートします。 多くの日産車はエンジンECU(ECM)診断にDDL2通信ラインを使用していますが、 一部車両のSRS診断にはDDL1通信ライン(旧コンサルト)を使用しています。 これらの車両はサポートされていません。 自己診断機能は、メイン画面上部のプルダウンメニューから選択するか、大きなメイン画面ボタン をクリックして選択することができます。 下部のプログレスバーは、SRS ECUとPC間のデータ転送を示します。 バーが動いていない場合は、SRS ECUからデータが受信されません。

🔊 Nissan DataScan II v2.52 Be	ta 1 📃 🗮 🗮
Settings ECM BCM ICM	ABS SRS ECMD OBDII Help SRS ECMD OBDII WBO2
Basic F S Diagr	unctions SRS elf iostics
Connect	ECU PART NUMBER: AA71 SOFTWARE VERSION: 0x300
Connected Celsius	Kph Cable ver 2.13

8.1 自己診断

自己診断機能は、SRS ECUに存在するすべての故障コードを報告します。 また、故障を修復した場合に既存のコードをクリアするために使用することもできます

Error Codes	12
*** There are 0 current faults on the system ***	4
*** There are 0 past faults on the system ***	
*** There is 1 recorded fault on the system ***	
B1129, SIDE MODULE RH	
Clear Error Codes Potriovo Erro	or Codes

記録された故障は履歴となり、クリアすることはできません。 これらの故障は過去に発生した後、修復されています。 モジュールの再接続が失敗した場合や、事故によるエアバッグ展開のような単純な場合もありま す。

9. ディーゼルECM(ECMD)ファンクション

NDSIIソフトウェアは、DDL2通信ラインを介してディーゼルECM診断をサポートします。 ECMD機能は、ディーゼルECMの診断およびデータモニターに使用されます。 メイン画面の上部にあるプルダウンメニューから選択するか、大きなメイン画面のボタンをクリックし て選択できます。

下部のプログレスバーは、ECMDとPC間のデータ転送を示します。

バーが動いていない場合、ECMDからのデータは受信されません。

Nissan DataScan II v2.52 Beta 1			
Settings ECM BCM ICM ABS SRS ECMD OBDII Help ECM BCM TCM ABS SRS ECMD OBDII WBO2 Basic Functions ECM Diesel Data Data Logging Self Log Data Replay Data Replay Data Replay Data Replay			
Connect ECU PART NUMBER: 23710-4U112 SOFTWARE VERSION: 0x062			

9.1 データディスプレイ

データ表示機能は、6つのゲージと9つのレジスタを使用して、ECMによって測定または計算された エンジンに関するリアルタイム情報を表示します。 環境設定に応じて、このウィンドウはクラシックまたは最新のデザインゲージを使用できます。

クラシックゲージデザイン



モダンゲージデザイン



パラメータは、Data Display Settingsウィンドウ(ECMD->Data Display Settings)のゲージに割り当てられます。

😻 Data Display Settings ECM Diesel		×	
Gauge 1	Gauge 2	Gauge 3	
Battery	Water Temperature -	Air Flow Sensor	
Gauge 4	Gauge 5	Gauge 6	
Speed -	Accelerator Position Sensor 🔻	Spill Valve 🔻	
Register 1	Register 4	Register 7	
Off Accelerator Switch	Ignition Switch	Swrl Con S/V	
	<u> </u>		
Register 2	Register 5	Register 8	
Start Signal 👻	Glow Relay 🔻	Resume/Acc Switch	
Register 3	Register 6	Register 9	
Brake Switch 👻	Cooling Fan 👻	Cancel Switch 👻	
Save Cancel			

9.2 データロギング

この機能を使用すると、ECMDのパラメータとレジスタの記録を選択できます。

また、ログファイルの名前と保存場所を選択できます。

[START]ボタンをクリックすると、選択したパラメータがコンマ区切りのテキストファイルに記録されます。

ログアナライザ機能またはデータリプレイ機能を使用して、ログファイルをレビューすることができます。このファイルは、Excelなどの一般的なスプレッドシートソフトウェアで開くこともできます。

データロギング機能は、データ表示ウィンドウからもアクセスできます。 メインウィンドウから機能を起動すると、早く起動できます

🔊 Data Logging ECM Diesel	_ 0	x
Parameter/Register		
☑ Battery		
Fuel Temperature		
Water Temperature		
V Speed		-
Accelerator Position Sensor		=
Spill Valve		
Air Flow Sensor		
EGR Vol Con/V		
🔲 Intake Air Volume		
Barometer Sensor		
CKPS-RPM TDC		
CKPS-RPM PUMP		
Off Accelerator Switch		
🗹 Start Signal		-
	BROWS	ε
START	STOP	

9.3 自己診断

自己診断機能は、ECMDに存在する故障コードを表示します。 また、故障が修復した場合に既存のコードをクリアするために使用することもできます。

Now Self Diagnostics ECM Diesel	×
Error Codes	
*** There are 5 faults on the system *** P1612, NATS MALFUNCTION P1610, NATS MALFUNCTION P1690, P5-PUMP CONTROL MODULE P0115, COOLANT TEMPERATURE SENSOR P0120, ACCEL POSITION SENSOR	*
Clear Error Codes Retr	ieve Error Codes

9.4 ログアナライザー

ログアナライザは、ユーザがデータロギング機能で記録されたデータをグラフ化する機能を提供します。グラフィカル出力は、時間に対するデータ変化を評価するのに役立ちます。 グラフで示されたログは、故障原因のために比較することができます。

利用可能な2つのデザインがあります。「Settings」->「Preferences」の設定によって、使用する設定が決まります。

クラシックデザイン



グラフ化したデータが上部に表示されます。

適切なボックスをチェックすることにより、データは上または下のグラフのいずれかでグラフ化することができます。

この機能を使用すると、記録されたパラメータを最も意味のある方法で表示することができます。 。位置ボタンを使用して、途中経過の値を比較することができます。

モダンデザイン

NDSII User Manual



グラフ化されるデータは左側に表示されます。 適切なボックスをチェックすることにより、データをグラフ化することができる。 グラフの色は関連するデータと一致します。 位置ボタンを使用して、途中経過の値を比較することができます。

垂直スケールを表示するには、パラメータを選択する前に[Show Y Scale]オプションを選択します。 下のウィンドウのハイライト表示された領域は、メインウィンドウの現在グラフ化されているデータを 表します。

9.5 データリプレイ

データリプレイ機能を使用して収集されたデータログファイルを「再生」するには、データ再生機能を使用します。

再生は、リアルタイムで実行することも、位置スライダを使用してステップ実行することもできます。

利用可能な2つのゲージデザインがあります。「Settings」->「Preferences」の設定によって、使用される設定が決まります。両方ともまったく同じ機能を実行します。

クラシックゲージデザイン



モダンゲージデザイン



9.6 パラメーターセッテイング

パラメータ設定機能には、メインプルダウンメニューECMD - >Parameter Settingsからアクセスできます。

個々のパラメータごとに値の範囲を調整するために使用されます。 また、クラシックゲージの外観を定義します。ゲージの分解能を増減します。

Nux Parameter Settings	ECM Diesel	×
Parameter		
Spill Valve		-
Value Range		
Min:	0	
Warn:	80	
Max:	100	
Dec Point	1	
Visual Alert:		
Classic Gauge		
Ticker:	10	
Sub Ticker:	5	
Save		Cancel

上部のドロップダウンメニューからパラメータを選択します。 ゲージの最小値、警告値、最大値を入力します。小数点を表示する桁数を入力します。

ビジュアルアラート設定では、警告値に達するとゲージの色が変わります。

ティッカーとサブティッカーの設定は、クラシックゲージにのみ適用されます。 ゲージが持つべきティッカー数を指定します。



10. OBDIIファンクション

OBDII機能は、kラインを介してISO9141プロトコルを使用してエンジン制御モジュール(ECM)に接続します。OBDII診断コネクタを装備した日産/インフィニティ車のすべてがOBDII

ISO9141プロトコルをサポートしているわけではありません。

このプロトコルは、北米では法律で義務付けとなっていますが、他の地域では義務付けとなっていません。

ほとんどのアメリカ仕様モデルはISO9141プロトコルをサポートしていますが、 日本国内モデルはサポートしていません。

OBDIIの機能は、メイン画面の上部にあるプルダウンメニューから選択するか、大きなメイン画面の ボタンをクリックして選択することができます。

下の進捗バーは、ECMとPC間のデータ転送を示します。 バーが動いていない場合は、ECMからデータが受信されていません。

🔊 Nissan DataScan II v2.52 Beta 1	
Settings ECM BCM TCM ABS SRS ECMD OBDII Help ECM BCM TCM ABS SRS ECMD OBDII WBO2 Basic Functions OBDII	
Data Display Data Logging Self Diagnostics Fuel System Status Monitor Status Log Analyser	
Connect	
Connected Celsius Kph	н

10.1 データディスプレイ

データディスプレイ機能は、1ゲージを使用して、エンジンECMによって測定または計算されたエンジンに関するリアルタイムデータを表示します。

ドロップダウンリストから、監視するパラメータを選択します。 [Start]ボタンをクリックして監視を開始します。停止ボタンをクリックして監視を停止します。 パラメータを変更する前に監視を停止する必要があります。

ECMでサポートされているパラメータのみが表示されます。

環境設定に応じて、このウィンドウはクラシックまたは最新のデザインゲージを使用できます。

クラシックゲージデザイン

NDSII User Manual

MOS OBDII Data Display	40 30 20 10 0	50 6 TPS 9 9	0 70 80 90 100	
Select p Absolut	arameter e Throttle Position			-
	Start		Stop	

モダンゲージデザイン



10.2 データロギング

この機能により、ユーザは、どのOBDIIパラメータを記録するかを選択することができます。 また、ログファイルの名前と保存場所を選択できます。 [START]ボタンをクリックすると、選択したパラメータがコンマ区切りのテキストファイルに記録されま す。その後、ログアナライザ機能を使用してログファイルを確認することができます。 このファイルは、Excelなどの一般的なスプレッドシートソフトウェアで開くこともできます。

OBDIIプロトコルの更新速度は非常に遅いです。1秒あたり約3-4回の単ーパラメータ更新しか達成できません。 より多くのパラメータを選択するほど、ログファイルの更新が遅くなります。

NOS OBDII Data Logging	-	the second s	
-Select Parameters	to log		
V Load	Timing		
Water Temp C	Air Temp C		
STFT B1	Air Flow		
LTFT B1	TPS		
RPM	OS B1 S1		
Speed kph	OS B1 S2		
Logfile location			
H:\micraOBDII.log			BROWSE
ST	ART	STOP	

10.3 自己診断

自己診断機能は、ECMに存在する故障コードを表示します。 また、故障が修復した場合に既存のコードをクリアするために使用することもできます
NDS OBDII Self Diagnostics	x	
Error Codes		
*** The Malfunction Indicator Light is On ***	Â	
*** There are 11 faults on the system ***		
P1611, Loss of CVRTD Serial Data P1111, Intake Air Temperature (IAT) Sensor Circuit Intermittent High Voltage U1001, Loss of serial communications for class 2 devices P0118, Engine Coolant Temperature (ECT) Sensor Circuit High Voltage P0113, Intake Air Temperature (IAT) Sensor Circuit High Voltage P0444, Evaporative Emission Control System Purge Control Valve Circuit Open P0107, Manifold Absolute Pressure (MAP) Sensor Circuit Low Voltage		
Clear Error Codes Retrieve Error Codes		

10.4 フューエルシステムステータス

ふゆーエルシステムステータス機能は、現在の燃料システム状態を表示します。 システムは5つの異なる状態にあります。

- ・オープンループ クローズドループになる条件をまだ満たしていない
- ・クローズドループ 燃料制御のフィードバックとしてO2センサーを使用する
- ・運転条件(パワーリッチ化、減速度など)に起因するオープンループ
- ・オープンループ 検出されたシステム障害のため
- ・クローズドループ、しかし少なくとも1つの02センサーが故障している 燃料制御のために単一の02センサーを使用している可能性がある



10.5 モニターステータス

モニターステータス機能は、DTCが最後にクリアされてからサポートされているモニターとその状態を表示します。

Misfire Monitor - ミスファイアモニターを使用する車両でサポートされています。 点火および圧縮に関連する

Fuel System Monitor - クローズドループ燃料フィードバック制御のためにO2センサーを 使用する車両でサポートされています。通常、点火に関連する

Comprehensive Component Monitor - 包括的なコンポーネントモニタリングを使用する 点火および圧縮に関連する

Catalyst Monitoring, Heated Catalyst Monitoring, Evaporative System Monitoring, Secondary Air System Monitoring, A/C System Refrigerant Monitoring, Oxygen Sensor Monitoring, Oxygen Sensor Heater Monitoring, EGR System Monitoring – テストのステータスは、1回のトリップで少なくとも1回実行されます

車両が排出テストに合格するには、サポートされているすべてのモニターが「完全」状態でなければなりません。



10.6 ログアナライザー

ログアナライザは、ユーザがデータロギング機能で記録されたデータをグラフ化する機能を提供しま す。グラフィカル出力は、時間に対するデータ変化を評価するのに役立ちます。 グラフで示されたログは、故障原因のために比較することができます。

利用可能な2つのデザインがあります。「Settings」->「Preferences」の設定によって、使用する設定が決まります。

クラシックデザイン

NDSII User Manual



グラフ化したデータが上部に表示されます。

適切なボックスをチェックすることにより、データは上または下のグラフのいずれかでグラフ化 することができます。

この機能を使用すると、記録されたパラメータを最も意味のある方法で表示することができます。位置ボタンを使用して、途中経過の値を比較することができます。

モダンデザイン

NDSII User Manual



グラフ化されるデータは左側に表示されます。 適切なボックスをチェックすることにより、データをグラフ化することができる。 グラフの色は関連するデータと一致します。 位置ボタンを使用して、途中経過の値を比較することができます。

垂直スケールを表示するには、パラメータを選択する前に[Show Y Scale]オプションを選択します。 下のウィンドウのハイライト表示された領域は、メインウィンドウの現在グラフ化されているデータ を表します。

10.7 パラメーターセッティング

パラメータ設定機能には、メインプルダウンメニューOBDII - >Parameter Settingsからアクセスできます。 個々のパラメータごとに値の範囲を調整するために使用されます。 また、クラシックゲージの外観を定義します。ゲージの分解能を増減します。

NDSII User Manual

NOS OB	DII Parameter	Settings	X
_ P a	arameter		
S	hort Term Fu	el Trim - B	3ank1 👻
V	alue Range		
	Min	-50)
	Warn	: 40	
	Max	: 50	
	Dec Point	: 1	
	Visual Alert		
С	lassic Gauge	1	
	Ticker:	10	
s	ub Ticker:	5	
[Save		Cancel

上部のドロップダウンメニューからパラメータを選択します。 ゲージの最小値、警告値、最大値を入力します。小数点を表示する桁数を入力します。

ビジュアルアラート設定では、警告値に達するとゲージの色が変わります

ティッカーとサブティッカーの設定は、クラシックゲージにのみ適用されます。 ゲージが持つべきティッカー数を指定します。



11. WOBDII

日産のDataScan IIソフトウェアは、Innovate Motorsports wideband meterをサポートしています。 WBO2メーターはシリアルCOMポートまたはUSBケーブルで接続できます。

wideband meterをPCに接続します。メインウィンドウで[WBO2]タブを選択します。 空気/燃料比の読み出しのためのポートとチャネルを選択します。 接続ボタンをクリックして、WBO2メーターのモニタを開始します。 空燃比は、過去のグラフと同様にデジタル形式で表示されます。

Nissan DataScan II v2.52 Beta 1	X
Settings ECM BCM TCM ABS SRS ECMD OBDII Help	5
ECM BCM TCM ABS SRS ECMD OBDII WB02	
Innovate Motorsports WBO2	1999
	A/F Ratio
	14 76
	17.70
	<u></u>
Connect Disconnect Innovat	e USB [+ 1: LM_2_02 +
Not Connected Celsius Kph	

WBO2メーターからのデータは、他のエンジンパラメータと共に表示または記録することもできま す。ゲージの1つに "Innovate WBO2"パラメータを割り当てます。 データ表示設定ウィンドウ(ECM->Data Display Settings).

NDSII User Manual

Gauge 1	Gauge 2	Gauge 3	Gauge 4
Engine RPM	✓ Air Flow Volts	▼ Water Temperature	A/F Alpha b1
Gauge 5	Gauge 6	Gauge 7	Gauge 8
A/F Alpha b1 stored	 Injector Time b1 	Base Fuel Schedule	Battery Voltage -
Gauge 9	Gauge 10	Gauge 11	Gauge 12
Injector Time b1	▼ NB Sensor 1 bank 1	Injector Time b2	Innovate WBO2 -
Register 1	Register 4	Register 7	
Sensor 1 Bank 1 A/F	Sensor 2 Bank 1 A/F	Idle Air Volume Learn	
Register 2	Register 5	Register 8	
Sensor 1 Bank 2 A/F	Sensor 2 Bank 2 A/F	Closed Throttle Position	
Register 3	Register 6	Register 9	
The second se			

WBO2からの空燃比は、データ表示機能を使用して他のエンジンパラメータに沿って表示されます。データロギング機能を使用してデータを記録することもできます。



付録A - ECMパラメータ

注意:すべてのパラメータがすべてのECMで利用できるわけではありません。

Engine RPM - エンジン回転数(分)。単位:rpm

Air Flow Volts - エアフロメーターで測定された吸入空気流量。単位:ボルト

Water Temperature - エンジンクーラント温度。単位: 摂氏または華氏

Short Fuel Trim -短期燃料トリム。エンジンをクローズドループモードで作動させるために ECMによって行われる燃料補正。単位:パーセンテージ。

Long Fuel Trim - 長期間の燃料トリム。酸素センサのフィードバックに基づいた ECMによる燃料補正。うまく調整されたエンジンは「燃料を引く」(すなわち<100)でなければなりま せん。単位:パーセンテージ。

Vehicle Speed Sensor - 速度センサー読み取り。単位:KPHまたはMPH。

Vehicle Speed - 使用される車速はECMです。単位:KPHまたはMPH。

Battery Voltage - ECMによって読み取られたバッテリ電圧。単位:ボルト。

Air Flow gm/s - 計算された吸気流量はECMである。単位:gm / s。

Fuel Tank Temperature - 燃料タンク内の温度。単位: 摂氏または華氏。

Intake Air Temperature - 吸入空気の温度。単位: 摂氏または華氏。

Calculated Load - 計算された負荷ECMで計算された負荷。ユニット:不明。

Idle RPM correction - アイドルRPM補正。単位:rpm。

Ignition Timing - 点火時期。単位: 度BTDC。

Accelerator Pedal Position 1- アクセルペダルセンサーの位置1.単位:ボルト。

Accelerator Pedal Position 2 - アクセルペダルセンサーの位置2.単位:ボルト。

Injector Time b1 - シリンダバンク1の計算されたインジェクタ開時間。単位:Msec。

Injector Time b2-シリンダバンク2の計算されたインジェクタ開時間。単位:Msec。

Throttle Position Sensor 1 - スロットルセンサーの位置1.単位:ボルト。
Throttle Position Sensor 2 - スロットルセンサーの位置2.単位:ボルト。
Ignition Timing Correction - アイドル点火時期補正。単位:度。
NB Sensor 1 bank 1 - シリンダーバンク1用の狭帯域O2センサー1。 エンジンがクローズドループで作動しているときに振動すること。単位:ボルト。
NB Sensor 1 bank 2 - シリンダーバンク2用の狭帯域O2センサー1。 エンジンがクローズドループで作動しているときに振動している必要があります。単位:ボルト。
NB Sensor 2 bank 1 - ナローバンドO2センサー2(シリンダーバンク1)。 読み取りはセンサー1より遅く変化するはずです。単位:ボルト。
NB Sensor 2 bank 2 - ナローバンドO2センサー2(シリンダーバンク2)。 読み取りはセンサー1より遅く変化するはずです。単位:ボルト。
WB Sensor bank 1 - ワイドバンドO2センサー(シリンダーバンク1用).単位:ボルト。
WB Sensor bank 2 - ワイドバンドO2センサー(シリンダーバンク2用).単位:ボルト。
Intake Camshaft Adv b1 - シリンダバンク1の吸気カムシャフトの進角。単位:度。
Intake Camshaft Adv b2 - シリンダバンク2の吸気カムシャフトの進角。単位:度。
Fuel Temperature - 燃料の温度。単位: 摂氏または華氏。
Throttle Position Sensor 1b - シリンダバンク1のスロットルセンサ。単位:ボルト。
Throttle Position Sensor 2b - シリンダバンク2のスロットルセンサ.単位:ボルト
Oil Temperature - エンジンオイルの温度。単位: 摂氏または華氏。
Intake Camshaft Sol b1 - シリンダバンク1の吸気カムシャフトソレノイドのデューティサイクル。 単位・パーセンテージ
単位:パーピンテーン。 Intake Camshaft Sol b1 - シリンダバンク1の吸気カムシャフトソレノイドのデューティサイクル。 単位:パーセンテージ

A/F Alpha b1 - Air/Fuelベース シリンダバンク1。それ以外は短期間の燃料調整と呼ばれます。 エンジンをクローズドループモードで作動させるためにECMによって行われる燃料補正。 単位:パーセンテージ。

A/F Alpha b2 - Air/Fuelベース シリンダバンク2。それ以外は短期燃料ベースとして知られています。 エンジンをクローズドループモードで作動させるためにECMによって行われる燃料補正。 単位:パーセンテージ。

A/F Alpha b1 stored - 格納されたAir/Fuelベース シリンダーバンク1。 それ以外は長期間燃料調整として知られている。O2センサのフィードバックに基づいたECMによる燃料補 正。うまく調整されたエンジンは「燃料を引く」(すなわち<100)でなければなりません。 単位:パーセンテージ。

A/F Alpha b2 stored - 格納されたAir/Fuelベース シリンダーバンク2。 それ以外は長期燃料トリムとして知られています。O2センサのフィードバックに基づいたECMによる燃料 補正。うまく調整されたエンジンは「燃料を引く」(すなわち<100)でなければなりません。 単位:パーセンテージ。

Purge Volume Control Valve - EVAPパージボリュームコントロールバルブの位置。 単位:パーセンテージ。

Wide Band O2 - 広帯域O2センサー コントローラからの空気/燃料比。単位:空気/燃料比。

Base Fuel Schedule - エンジン負荷を表すECM計算値。単位: Msec。

A/C pressure - エアコンコンプレッサーセンサー。単位:ボルト。

I/P Pulley Speed - 入力プーリ速度。単位:rpm。

Fuel Level Sensor - 燃料タンク内の燃料レベル。単位:ボルト。

EVAP system pressure - EVAP圧力。単位:ボルト。

Pos Count - POSセンサーのトリガーカウント。クランキング速度の測定に使用します。ユニット:不明。

Fuel Pressure - 燃料供給システム内の圧力。単位: MPa。